



『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成31年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
平成31年2月8日(金)



みんなの  
歓声  
みんなが  
輝く



事業名	①東京オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発 ②スポーツ機会の創出と普及啓発	予算(案)の概要	147、149 150	ページ
予算額	433,127千円(拡充・新規)①409,380千円、②23,747千円 (前年度予算額 ①11,955千円、②10,209千円)			
取材先	①東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部 東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長 浅野 (電話 03-5273-4220) ②地域振興部 生涯学習スポーツ課長 中山(電話 03-5273-3108)			

**東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで1年**  
新宿区は新国立競技場が位置する自治体として、東京2020大会開催とその後を見据えて本格的な気運醸成の取組みを加速していきます。

### 気運醸成事業の目的

- イベントを通して多くの区民がスポーツ・文化に親しむ機会を作り、大会に向けた気運を高めます。パラスポーツ体験を通じて、障害への理解を深めます。
- 子どもたちに、東京2020大会に関連して経験したことを、生涯の記憶として残します。
- 区民や来街者が、東京2020大会が近づいてきたと感じ、大会に向けた期待感を高めます。
- 東京2020大会を契機とした地域の活動を一層、活性化します。
- 区民の大会への参画意識を喚起するとともにボランティア意識の定着を図ります。
- 大会成功に向けた組織力の向上
- 区民協議会の運営

## 2019

1~3月

体験イベント等の実施

子どもたちと大会の関わり

大会関係の装飾による気運醸成

地域のイベントを活用した気運醸成

ボランティア活動の創出

4~6月

500日前イベント

車椅子型VRレーサー

庁舎のラッピング

五輪音頭講習会

新宿区独自ボランティア制度の創設

・区のイベント運営ボランティアの募集

7~9月

ラグビーW杯パブリックビューイングイベント

陸上競技シルエットシール等設置(区立小・中・特別支援学校)

日めくりカレンダー絵画コンクール(配布)

シティドレッシング

五輪音頭講習会

デイカウンター

・新宿区独自ボランティア募集開始

10~12月

前イベント 250日

イメージ

配電地上機器

五輪音頭講習会

・区の各種イベントで活躍

## 2020

1~3月

聖火リレー実施

3/26福島県をスタート  
東京都は7/10~7/24

聖火イベント

4~6月

大会パブリックビューイング

シティドレッシング

トリックアートフォトブース

7月~

オリンピック・パラリンピック開催

（仮称）新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金創設・事業助成

# ①東京オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発

## 1 体験イベント等の実施 (予算額 28,282千円)

### 1 東京2020大会開催250日前イベント

東京2020大会開催に向け、生涯にわたり記憶に残る大会となるよう様々なコンテンツを備えたイベントを開催し、区民等の気運醸成を図ります。

①開催日：2019年11月24日(日)

②会場：区立落合第四小学校  
区立落合中学校



### 2 パブリックビューイングイベント

世界規模のスポーツイベントであるラグビーワールドカップ2019のパブリックビューイングイベントを区内イベント会場で実施します。

①開催日：2019年9月28日(土)～29日(日)

②会場：未定



### 3 東京五輪音頭講習会

前回大会のリメイクと版となる東京五輪音頭-2020-は、高齢者に馴染みのある歌詞と若年層に受け入れられやすい音楽が特徴、様々な年代が一つの空間で一体となって踊ることで大会への気運醸成をいっそう高めています。

①開催日：前期(5～6月頃)

後期(2020年1～2月)

②会場：前期・後期とも地域センター10所



## 2 子どもたちに大会との関わりを創出 (予算額 70,449千円)

### 1 東京2020大会絵画コンクールの開催と日めくりカレンダーの制作

区立小学校、中学校及び特別支援学校の児童及び生徒を対象に、絵画コンクールを実施。応募作品を活用し、大会が開幕するまでの日めくりカレンダーを制作・配付します。

①絵画の応募：8月

②カレンダーの配付：12月

### 2 陸上競技シルエットシール等の設置

区立小・中学校及び特別支援学校、全40校の体育館等にアスリートの記録のすごさが実感できる陸上競技等のシルエットシールを設置し、期待感を高めています。



## 3 大会関係の装飾による気運醸成 (予算額 170,429千円)

### 1 フラッグ等による商店街等の装飾

商店街の協力により、街路灯等にフラッグを掲出し大会カラーに装飾します。

さらに、地域センター等のエレベータードアに競技をイメージさせるシルエットシールを設置し、区民・来街者に対する大会のアピールと期待感を高めていきます。

場所：商店街、地域センター及びBIZ新宿

### 2 大会エンブレム等を活用した庁用車の装飾

庁用車に東京2020大会のエンブレム等の掲出を行い、区民や来街者のさらなる気運醸成を図ります。

### 3 配電地上機器を活用した新宿駅周辺等の装飾

新宿駅周辺やマラソンコース沿道の配電地上機器にエンブレム、マスコット及び子どもたちの絵画コンクールの絵を用いて街の景色を彩ります。



## 4 地域のイベントを活用した気運醸成 (予算額 81,457千円)

### 1 普及啓発イベント(トリックアート)

地域センターまつり等のイベント会場で、スポーツをモチーフとしたトリックアートフォトコーナーを出展します。また、撮影した写真は各地域センター等(区内14か所)に設置しているデジタルサイネージで放映し地域における気運の醸成を図ります。

### 2 普及啓発イベント(グッズ等を活用した地域の気運醸成等)

大会開催に向け、地域のイベント等で大会エンブレム入りのうちわの配布やはっぴの貸し出しを行います。

### 3 地域別普及啓発(特別出張所10所の取組み)

各特別出張所単位で地域の特性に応じてオリンピック・パラリンピックに関連した事業を企画し、地域と連携して特色ある普及啓発事業を実施します。



## (仮称)新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金を活用した事業助成 (助成額 50,000千円)

### ●目的

東京2020大会の開催に向け、地域の伝統芸能、歴史的な行事及び新宿の文化を発信する区民等の活動に対し基金を活用した助成を行い、大会を将来に渡り区民の記憶に残るものとします。

### ●助成金額

50,000千円

(※平成30年度最終補正予算において1億円を積立)

(仮称)新宿みこしパレード2020 他

## 5 ボランティア活動の機会の創出 (予算額 5,766千円)

●中学生以上を対象とした、気軽に参加できる区独自のボランティア制度を創設し、区主催のイベント等の運営に関わっていただき、区民のボランティアマインドの醸成を図るとともに大会終了後のレガシーとして区内のボランティア活動の発展・定着を目指します。  
対 象：中学生以上の区民、在勤者、在学者等

★新宿区東京2020大会  
ボランティア登録制度の  
創設

●さらに、既存のボランティア講座等に加え、**オリンピック・パラリンピックに関連する講座等を実施**するなど、オリンピズムの理念である共生社会の実現に向けた取組を行います。  
対 象：区民、在勤者、在学者等



## 6 大会成功に向けた組織力の向上 (予算額 1,428千円)

### 参画プログラムや公式グッズを活用した組織等の気運醸成

各所管において、参画プログラムを活用した事業を推進するほか、職員がエンブレム入りのグッズ等を着用することにより、区民・来庁者に対する大会のアピールと期待感の高まりを醸成します。さらに、職員向けにオリンピック・パラリンピックに関連する研修を実施し、大会の成功に向け、組織力の向上を図っていきます。



## 7 新宿区東京2020大会区民協議会の運営 (予算額 1,569千円)

「新宿区東京2020大会区民協議会」では、大会500日前記念イベントの実施内容や運営状況等について、各部会において検証していきます。検証した点を踏まえて、より魅力的で訴求力のある各種事業を展開していくとともに、新宿区民・関係団体等が一体となった東京2020大会に向けた取組をより一層進めていきます。



## ②スポーツ機会の創出と普及啓発

### 江戸川河川敷グラウンドの借上げ (予算額 15,397千円)

子どもたちが多様なスポーツを体験する機会の創出及びスポーツ環境の充実を図るため、江戸川河川敷グラウンドの一部を借り上げます。  
(平成31年度(2019年度)は6月から貸出開始)



#### 【施設概要】

- (1) 施設名称 江戸川河川敷グラウンド
- (2) 所在地 埼玉県三郷市市助地先
- (3) 管理者 一般財団法人 サンケイスポーツセンター
- (4) 借上げグラウンド
  - ア 22番グラウンド(利用日：土日及び祝日)  
※使用可能種目：サッカー(小学生まで)・硬式野球(中学生まで)・軟式野球(大人可)・ソフトボール(大人可)
  - イ 24番グラウンド(利用日：日曜日)  
※使用可能種目  
軟式野球(大人可)・ソフトボール(大人可)
- (5) 利用可能月 3月～12月  
ただし、平成31年度(2019年度)は6月貸出開始
- (6) 利用料金 1時間2,500円

2019年6月からの正式借上げ前のプレオープンとしてGW期間中5月3日・4日・5日の3日間22番グラウンドを無料で開放する予定です。

### 子ども・成人向けスポーツ体験教室の開催 (予算額 8,350千円)

子どもから高齢者までライフステージ等に応じた多様なスポーツが体験できる教室を開催します(年11回)。かけっこや水泳など身近なスポーツだけでなく、パラリンピック種目にも触れる機会を持つことにより障害理解を深め、東京2020大会の気運醸成にもつなげます。

#### 平成30年度 スポーツ体験教室の様子

